

国土交通大臣認定を受けた信州型接着^{かさ}重^{ばり}ね梁

- 平成 28 年 4 月 25 日に国土交通大臣の認定を受けました。
- J I S 及び J A S 製品と同様の指定建築材料となりました。
- 全国へ幅広い普及による長野県産材の利用促進が期待されます。

概 要

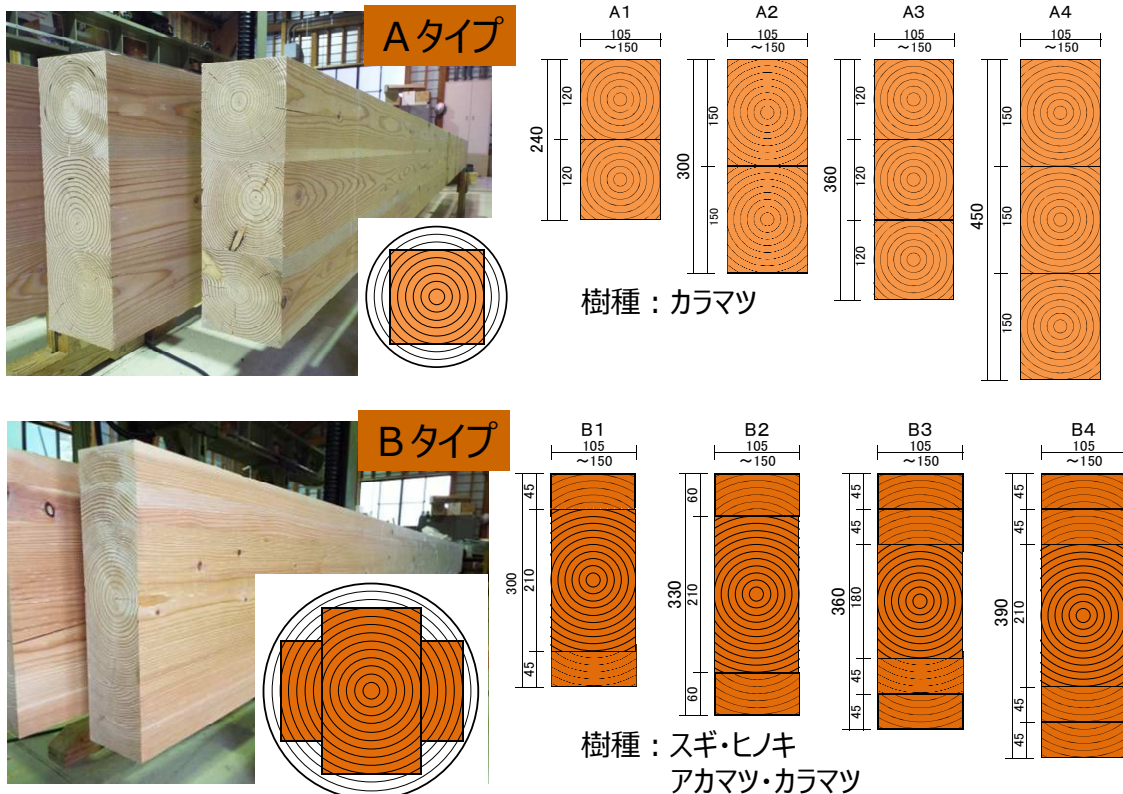
梁・桁材は断面寸法が大きく、現在の日本の木材では十分な供給が厳しいため、国産材の使用割合は1割に満たない状況にあります。

このため、県産材を活用して無垢材に近い質感を持ち、品質・性能の確保された新たな梁・桁材を開発・普及することで、外材から県産材への転換を図ります。

内 容

・ 30cm未満の小中径材から梁せいの大きな横架材が製造でき、接着面が少なく、無垢材に近い質感があり、高い意匠性が得られます。

・ 下の写真のとおり、Aタイプの樹種は、カラマツのみで、梁せいは 24~45cm。Bタイプの樹種は、スギ・ヒノキ・アカマツ・カラマツで、梁せいは、30~39cm となっています。



詳しくは以下のアドレスを参照

http://www.pref.nagano.lg.jp/ringyosogo/seika/kenkyu/mokuzai/documents/p123-p135_1.pdf

担当者 木材部 今井信